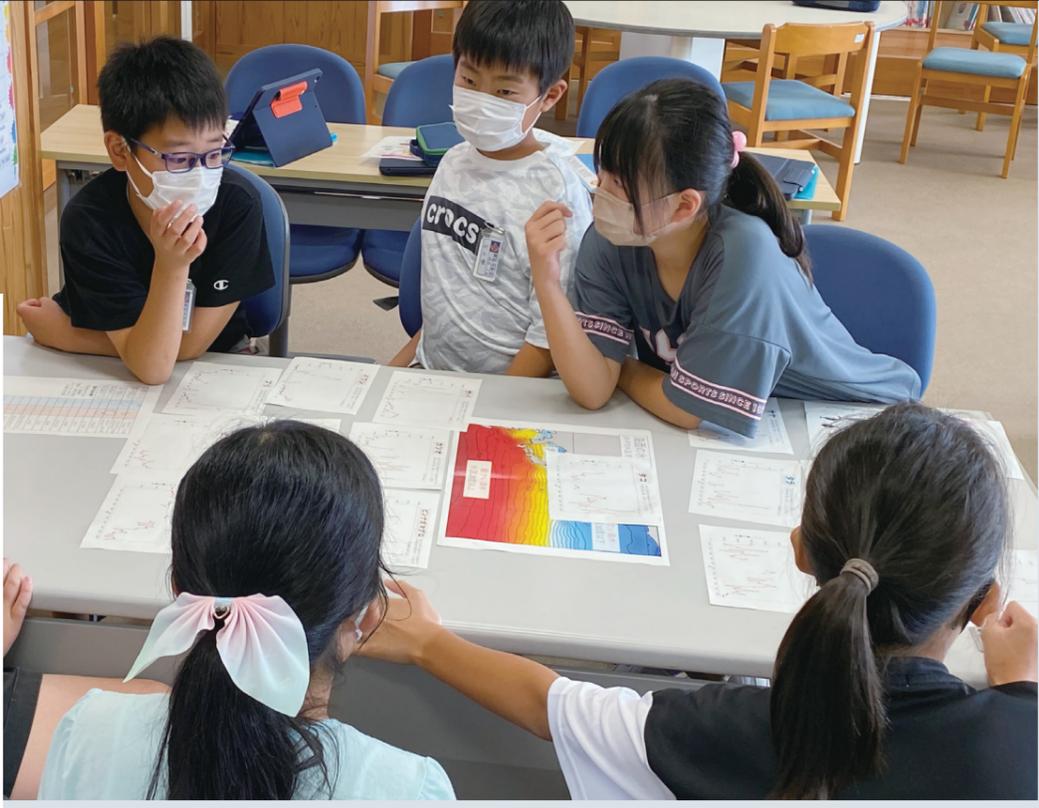


宮城

多様な主体の参画と協働による学校・地域包括型
ESD for 2030の推進
地域の特色とネットワークを生かした多様な学びの展開



気仙沼ESD/RCE推進委員会

「海と生きる」地域と学校とのつながりを大切に
ローカルへの深い理解とグローバルな視野を
持った持続可能な社会の創り手づくり

気仙沼には「森は海の恋人運動」や「スローフード運動」などが根差し、早くからESDを土台とした地域ぐるみの教育を推進しています。国内外から高い評価を得ている気仙沼のESDは、自然環境、食文化、伝統文化、国際理解、防災・減災、海洋など、地域の特色とネットワークを生かしながら、探究的で協働的な多様な学びとして展開しているところに特長があります。その中核を成している気仙沼ESD/RCE推進委員会は、仙台広域圏ESD/RCEの一地域として、学校や大学等の専門機関、産業団体、行政、NPO等の関係機関・団体等との連携を積極的に図りながら、本市教育の基盤であるESDのさらなる充実と学びの産官学コンソーシアム事業の推進にも努めています。

■組織・団体に取り組む課題(テーマ)[SDGs]

3 持続可能なエネルギー	4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用創出の促進
11 持続可能な都市づくり	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会を築こう

17 パートナリシップで目標を達成しよう

写真について
上：海水温の上昇による水産業への影響を探る
下左：東日本大震災遺構・伝承館での語り部活動
下中：キリバス共和国の小学校と気候変動学習での交流
下右：地元食材を活用したオリジナルレシピでの
プチシェフ・コンテストに参加

〒988-8502 宮城県気仙沼市魚市場前1番1号
 電話 0226-22-3441
 FAX 0226-23-0943
 E-mail kyogaku@kesennuma.miyagi.jp
 URL https://www.kesennuma.miyagi.jp/li/life/040/010/index.html



活動紹介

気仙沼ESD/RCE円卓会議



気仙沼ESD/RCE円卓会議2023



円卓会議2023でのパネルディスカッション

プロジェクト概要

2002年度から毎年11月に開催している「気仙沼ESD/RCE円卓会議」の目的と方策は次の3つです。まずは、文部科学省や日本ユネスコ国内委員会、国連や大学関係者等を招聘し、最新の教育の動向やESD/SDGsの情報を得て、それらを共有します。そして、幼稚園、小・中学校、高校、行政、企業、NPO等の取組を発表し合い、地域における多様な主体のESD/SDGsの実践を学び合います。さらに、教育、地域、行政、企業、ユネスコ協会等の視点から環境や防災、まちづくり等について議論し合い、持続可能な社会の創り手を育む観点から時代の地域課題を議論し、方向性を共有します。これらについて講演や事例発表、パネルディスカッションを通じて共に学び合い、磨き合える貴重な場がESD円卓会議です。具体的には、2021年度は市長から教育を軸とした産学官民協働による構想が提案され、気仙沼市持続可能な社会推進市民会議が発足に至りました。2022年度は子供の尊厳と人間の安全保障、持続可能な社会の実現について議論し、2023年度は気仙沼のESDの価値と今後の展望についての提案・提言と活発な意見交換が行われました。

ESD実践のポイント

先ごろ策定された第3期気仙沼市教育大綱には、「ふるさとを愛し、創造力を高め、持続可能な社会の創り手として、人間性豊かで健やかに生きることを願い、ここに目指したい姿を掲げて、生涯に渡る学びを実現します」とし、「人を思いやる心と高い倫理観、豊かな感性」、「創造的に自律して生きていく力」、「ふるさとを思うローカルな視点、世界で活躍するためのグローバルな視点」の3つが基本理念に示されています。これらの実現に向け、気仙沼ESD/RCE推進委員会と気仙沼ESD/RCE円卓会議が果たす成果を考察すると、①多様なセクターと多様なレベル、多様な世代を巻き込んだESDプラットフォームであること、②気仙沼市が抱える様々な課題に向き合い、解決への合意形成を図る場であること、③ESD/SDGsの最新情報を直接学び、アップデートするグローバルな学びの場であること、④地域のESD/SDGsの実践の共有と課題を深掘りする場であること、⑤持続可能なESDの推進システムを構築し、変化する時代(SDGs)への対応を協議する場であること、の5つに整理できると言えるでしょう。

担当者からのメッセージ

気仙沼がESDに取り組み始めてから20年以上が経ちます。あの頃学校でESDを学んだ子供たちは既に子供を持つ親世代になっています。彼らの考え方や生き方にESDがどのように関わってきたのか問いたくなります。「自分らしく幸せに生きる」ことができる人と地域を気仙沼のESDはずっと目指してきました。最近、ESDに期待されること、SDGsとして達成させることが子供にも大人にも、学校にも社会にも一層増えているような気がします。そのような今だからこそ、私たちはESDによる教育の原点を見つめ直し、本来のESDの在り方、向き合い方を問い直すことの重要性を強く認識しています。気仙沼ESD/RCE推進委員会では、今後も学校や様々な立場の方々との連携しながら、気仙沼のESDに誇りを持って充実させていきたいと思ひます。



気仙沼市ESD/RCE推進委員会
(スローフード気仙沼 理事長/
気仙沼商工会議所 会頭)
委員長 菅原 昭彦さん